学校番号	T3009

令和8年度　(学)社会科学科

教科	(学)社会科学	科目	(学)総合社会	単位数	２単位	年次	４年次
使用教科書	なし						
副教材等	自作プリント						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・総合社会では、これまでに学んできた地理総合及び公共・政治経済の内容をさらに深めながら、現代社会が抱える課題と向き合い、社会に生きる一人の人間として、より良い社会の実現に向けて何ができるかを構想していきます。
・復習も兼ねながら実施していきますので、わからない箇所があれば積極的に質問し、ひとつずつ克服していきましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
　日本の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら、総合的に理解し、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べ、現代とのつながりについてまとめる技能を身につける。
　世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題を理解し、地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
　我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、歴史に見られる課題を把握し、現代社会が抱える課題の解決を視野に入れて考察する力を養う。
　地理的な課題の解決にむけて構想、考察する力や、構想したことを説明したり、議論する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
　我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、我が国の歴史に対する愛情、現代における他国や他国の文化を尊重することの大切についての自覚を深める。
　地理に関わる課題を主体的に追及、解決し、多様な生活文化を尊重しようとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	地理総合及び公共・政治経済の各単元の基本的な概念理解を深めるとともに、現代社会が抱える課題に対して「何ができるか」を考察し、表現したりする技能を伸ばしている。	地理総合及び公共・政治経済の各単元の各課題に対して、多面的・多角的に考察する力を深めることができている。	よりより社会の実現を視野に、人間としての在り方生き方についての自覚や、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	地理総合の分野についての復習と深化	世界の領土問題,日本の抱える諸問題,世界の抱える諸問題などについて,内容を復習するとともに深めていく。	a:各単元の基本的な概念理解を深めるとともに,現代社会が抱える課題に対して「何ができるか」を考察し,表現したりする技能を伸ばしている。 b:地理総合及び公共・政治経済の各単元の各課題に対して,多面的・多角的に考察する力を深めることができている。 c:よりより社会の実現を視野に,人間としての在り方生き方についての自覚や,自国を愛し,その平和と繁栄を図ることや,各国が相互に主権を尊重し,各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。	定期考査	定期考査 授業プリント	授業プリント
後期	公共・政治経済の分野についての復習と深化	公民分野の単元について,テーマ学習を通しながら,内容を復習するとともに深めていく。	a:各単元の基本的な概念理解を深めるとともに,現代社会が抱える課題に対して「何ができるか」を考察し,表現したりする技能を伸ばしている。 b:地理総合及び公共・政治経済の各単元の各課題に対して,多面的・多角的に考察する力を深めることができている。 c:よりより社会の実現を視野に,人間としての在り方生き方についての自覚や,自国を愛し,その平和と繁栄を図ることや,各国が相互に主権を尊重し,各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。	定期考査	定期考査 授業プリント	授業プリント

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度